

Atsuko Kudo Mail Magazine 253

2022.10.22

●9.10月の活動報告

ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。

札幌は木々の葉が色付き始め、
秋の装いになりました。

皆さま、お元気でいらっしゃいますか？

いつも AKWM のためにお祈りとお支援をくださり、
ありがとうございます。



久しぶりのメルマガ、今回は、9月、10月の活動報告をさせていただきます。

●9月27日 ホームホスピス「のぞみの家」設立記念コンサート&講演会



コンサートでは、スイス在住のリユート奏者、今村泰典さんのソロ演奏と、私も今村さんのテオルボ（バス・リユート）伴奏で歌わせていただく予定でしたが、コンサートの3日前、今村さんが、暗い夜道を歩いていた時に道路ぶちの深い溝に気付かずに転落してしまい、全治 2~3 か月の大怪我を負いました。急遽、ピアノ二ストの野田常喜さんに伴奏をお願いし、野田さんも私も、切実な思いで今村さんのために祈りながら、歌い演奏させていただきました。祈りを込めた演奏に、聴衆の皆さんも何か特別なものを感じられたようです。

第二部は、全国ホームホスピス協会理事長の市原氏のビデオ・スピーチと、尼崎のホームホスピス「愛逢の家」の管理者であられる西川氏の講演があり、私も大変興味深く聞かせていただきました。これまで、ホームホスピスは「看取りの家」と思っていたのですが、「おだやかに、最後まで自分らしく生きる場所」と説明され、くつろぎと家族の暖かさを大切にする「家」であることが分かりました。ホームホスピスは、これからの高齢化社会のニーズを担う重要な働きになっていくと思います。

今村さんは、幸い、脳には異常はなく、意識もはっきりしておられ、多くの方々のお祈りに支えられて快復に向かっています。今村さんが一日も早く完治しますように、後遺症などが残らず、日常生活、演奏家としての活動、教会での働きを再開できますようお祈りください。

●ルターの宗教改革記念コンサート

ブラジル日系人教会からのご依頼で、10月5日にビデオ収録をしました。YouTubeに公開されましたら、皆さまにお知らせいたします。



4世紀末にローマでキリスト教が国教化されてから、神の言葉は、国の政治・権力と絡み合いながら、曲げられ歪められて行きました。以降、教会は腐敗の一途を辿ります。その教会に抗議（プロテスト）した人たちの多くは殺され、迫害されました。今のクリスチャン迫害の多くは、他宗教や共産主義国家からのものですが、当時は、み言葉に従おうとする人々が、み言葉に従わない教会から迫害されたのです。ルターの宗教改革もいのちをささげる働きであり、嵐の中を、神の不思議な御力によって進んでいきました。

「死に至るまで忠実に」（黙示録2：10）。いのちの冠を受けるために、この覚悟以外の生き方はないのだと思います。今日も明日も、御霊が諸教会に語られることを聞く、耳のある者でありたいと願っています。

●10月15日、ベルリン日本語家庭集会メッセージ奉仕（Zoom）

二宮美香子さんを中心にベルリン日本語集会が始められて14年になります。ベルリン集会とは、ドイツ時代から交わりを持たせていただきましたが、今回、遠く離れていても、Zoomを通して皆さんと共にみ言葉を分かち合う時、交わりの時を持たたことは大きな喜びでした。

欧州には、40以上の日本語教会・集会があり、現地の日本人、日本語を話される方々への伝道と礼拝の重要な役割を担っています。また、海外で救われる日本人の数は、日本で救われる数に勝っているとも言われています。それは、国を出た人々が解放されて心開かれ、あるいは困難に直面して救いを求めるようになるからです。どうぞ、海外の邦人伝道、教会、集会の祝福のためにお祈りください。

●お祈りください



10月24日に大阪に行き、30日には宝塚栄光教会でのチャペル・コンサート（午後3時）を予定しています。今回は、3年ぶりの有観客コンサート、またライブ配信もされます。主が良き伝道の時としてくださいますように。

11月初旬には、大阪の教会の賛美グループの録音をスタートする予定です。CD完成までにはしばらくの時間がかかりますと思いますが、主の栄光をあらわせる録音ができますようお祈りください。

皆さまに主の豊かな祝福がありますように！

工藤 篤子